



第21号

令和元年11月20日

発行

鹿児島大学教育学部同窓会

〒890-0065

鹿児島市郡元1-20-6

TEL・FAX

099-285-7718



同窓会ホームページ  
http://kue-dousokai.com/

編集・印刷

濱島印刷(株)

# 第22回同窓会総会・懇親会

## 新たな出発

令和元年度(第22回)教育学部同窓会総会・懇親会は、8月4日ジェイドガーデンパレスにおいて、前田芳實前鹿児島大学長、前田光久県教育次長、上谷順三郎教育学部長、池之迫静男名誉会長の御臨席のもと、盛大に開催された。

石神会長は、「昨年度の設立20周年記念大会で誕生した同窓会の歌『我が友よ』に込められた思い【①教への道に志し学ぶ②未来を担ふ人材を育む③絆は堅く結ばれて集へる】が永く継がれていくことを願われるとい

もに、『令和』という新しい時代を迎え、20年前に生まれた『小さな芽』が更に『大きな樹』に伸びるよう、新たな気持ちで、力を合わせて盛り上げていきましよう」と挨拶された。

その後、設立当初から理事を務められ、同窓会の発展に尽力された有馬暢洋氏に感謝状が贈呈された。

協議では、報告(事業・決算)、運営方針、事業計画、予算等が承認された。その中で、学部再編や定数減による会費減に伴い、昨年度から取り組まれた「同

窓会運営協力金」について、櫛山監事が、新聞記事(『教育学部の募集定員は来年度から一割減の190人とする予定』『参考：平成元年度の募集定員は360人』)をもとに、更なる会費減の危機的状況を説明され、協力をお願いされた。

役員改選では、平成26年から会長を務められた石神正明氏の辞意表明を受け、新会長に松永郁男氏、新副会長に久保正和氏が承認された。また、理事の有馬暢洋氏、林賢一郎氏、川内野一彌氏、下原美保氏、支部世話



令和元年度 鹿児島大学教育学部同窓会 第22回 定期総会

役の辰野吉郎氏が退任された。長い間、御貢献いただき、ありがとうございました。ごさいました。(本年度「同窓会役員」は3面に掲載) 総会後、前田前学長の講演をいただいた。進取の精神・グローバルな視点を有し、国際的に活躍できる人材の育成や「地域ニーズに応じた社会人教育や地域連携の推進」等について熱く話された。

## 令和元年度 同窓会運営基本方針

- 教育学部同窓会は、平成10年に発足して昨年20周年を迎えた。鹿児島大学教育学部の沿革をたどれば、1875(明治8)年に始まり144年の年輪を刻む。鹿児島大学の中で本学部は最も長い歴史に支えられている学部として、2万余人の卒業生を擁する同窓会である。
- 本会は、会員相互の親睦、鹿児島大学及び本学部の発展と本県教育の振興を図ることを目的にして、今日的課題をとらえ活動してきている。本年も、さらに
- 組織の拡充・活性化、在学生への支援、各地域の教育力の涵養、鹿児島大学同窓会連合会との連携に努め、以下の活動を推進する。
- ### 重点事項
- 1 組織の充実のために、各役員及び会員の積極的な参加を推進する。
  - 2 学年会員同士の絆を強めるために、支部、学年ごとの同窓会の充実を図り、さらに県外在住同窓生の組織化のあり方を検討する。
  - 3 会の運営を充実するために、総務、研修、広報の専門部を組織し、専門部活動の活性化を図る。
  - 4 「鹿児島の教育を語る会」活動を通して、「進取の気風」にあふれる在学生の育成に努め、会員との交流を深める。
  - 5 卒業後の進路が多岐にわたる状況を考慮し、在学生への支援に努める。
  - 6 鹿児島大学及び鹿児島大学教育学部が行う国際交流活動及び「鹿児島の教育を語る会」の開催を充実して、在学生への支援に努める。
  - 7 「人材活用事業(地域の要請に応じた児童・生徒の諸指導、生涯学習等)」の周知を図り、その推進に努める。
  - 8 会費納入奨励月間を設けて、会費未納者への会費納入を勧める。また、運営協力金への協力依頼を行い、財政基盤の強化を図る。



### 会長に指名されて

鹿大教育学部同窓会会長 松永 郁男

学で同窓会のないのは教育学部だけだよ。」と言われた。

平成10年の1月、教育学部の各卒業年度世話人が集まり、同窓会設立の会議が開かれた。各学科の各卒業年度世話人としての了解をもらってな

い方々もいるとのことで、小会議室で南先生(技術科)とその方々に電話をかけた。たことが思い出される。そんなことで、何とか教育学部同窓会ではできたが、大学が法人化されるために私は学部代表で全学の会議に出ている

私事ではあるが、昨年末に兄、今年姉を亡くし、自分もいつまで生きられるか自信を無くしていた。それで、今年7月13日「鹿大OGと話す会」が学生交流会館であったので、丁度良い機会と思ひ、石神会長に相談した。12月に人事のことが議題に上るので、その時、辞めた旨を話したところ、私の後をやってほしいとの話になった。

また石神会長には代表幹事(鹿児島大学同窓会連合会)では各学部選出の同窓会長は連合会の副会長になり、各学部の副会長は幹事となる)の選出の際にも「代表幹事の話が出ているが、やっていただけな

### 令和元年度事業計画

5月10日(金)	第1回本部三役会(新年度の年間計画企画及び総会当日の運営関係) 会計監査
5月31日(金)	役員会・理事会(第22回定期総会付議事項の審議)
7月1日(月)	第1回広報部会(「会報21号」の刊行企画について話し合い・原稿依頼)
7月17日(水)	第2回本部三役会(定期総会当日の運営等の確認)
8月4日(日)	第22回定期総会・懇親会開催(ジェイドガーデンパレス)
9月上旬	第3回本部三役会
10月下旬	「鹿児島の教育を語る会」各専修の提言学生との事前打合せ
11月29日(金)	第18回「鹿児島の教育を語る会」協議・懇親交流会開催
11月下旬	「会報21号」の発行
2月25日(土)	総務部と53・54・55年卒の学年代表者との打合せ会
3月14日(土)	全学年代表者会(第23回総会・懇親会開催への協力要請)
3月中旬	学部卒業生会員への「卒業祝いメッセージ」配付

### 学部及び連合会の関連事業

平成31年4月1日(月)	教育学部新入生オリエンテーション(新入生への会長挨拶)
4月5日(金)	鹿児島大学入学式 式場・県立体育館
4月6日(土)	同窓会連合会 総会・懇親会「卒業生の集い」開催 城山ホテル鹿児島
令和元年5月30日(木)	同窓会連合会 第1回幹事会(連合会報28号発行関係)
8月下旬	同窓会連合会 第1回役員会(9学部同窓会長)
11月中旬	同窓会連合会 第2回幹事会(連合会報29号発行関係)
12月7日(土)	同窓会連合会 第2回役員会(9学部同窓会長)
令和2年1月下旬	同窓会連合会 第3回幹事会
3月中旬	同窓会連合会 第3回役員会(総会・懇親会関係)
中・下旬	同窓会連合会 第3回役員会(9学部同窓会長)
3月25日(水)	鹿児島大学卒業式 式場：県立体育館(会長出席)





### 鹿大教育学部同窓会会長退任のご挨拶

同窓会前会長(昭和31年卒) 石神 正明

令和元年8月、第22回同窓会総会で、長年お世話になりました同窓会の役を終わらせていただくことになりました。その間、歴代教育学部長はじめ諸先生方や歴代同窓会会長役員の方々はもとより多くの方々に大変お世話になり、厚くお礼申し上げます。

今年の総会は、新元号となつて初めての大会でありましたし、昨年平成の最後の総会となった設立20周年記念大会を受けての未来に繋ぐ意義ある会でもあったと思います。

この会を終えての退任は、皆様方に大きな力をいただいたことを思い、生涯忘れ得ないものになったと思っております。

その設立20周年記念大会に向けての取組では、「同窓会名簿第2号」の作成に始まり、実行委員会を組織しての各班的計画的・積極的な取組で、これまでの活動の集大成がなされ、当日は感動的な会となったことが蘇つてまいります。

中でも新たにできた同窓会の歌「我が友よ」の披露があり、音楽専修学生の歌声が今でも耳に残つており、永遠に歌い継がれていくものと思えます。

また、本学部平成4年卒の世界的な指揮者下野竜也氏による、鹿大交響管弦楽団の学生の皆さんへの懇切なご指導に、教養育てることの真髓を感じ、印象に残るものとなりました。

同窓会の歌のはじめに出てくる桜島については、顧みますと、本同窓会が発足の平成10年1月25日の朝、桜島は見事に雪に覆われた姿で私共の同窓会の門出を見守っていたように思います。その発足総会で図らずもその会の議長を仰せつかったことも思い出されます。それから同窓会は、初代松元兼俊会長、二代池之迫静男会長のご指導の下、毎年の総会や会報発行はもとより、中でも平成14年には後継者育成事業としての「鹿児島教育を語る会」を発足させ、学生の皆さんと卒業生が共に語り合うとともに、時代

に即したテーマも充実し今日に至っています。また平成20年には設立10周年記念大会、平成26年には「教育学部沿革の碑」も建立されました。

その間、いろいろと同窓会のあり方を学ばせていただき、設立当初より理事を9年半、平成19年8月から副会長を7年間、平成26年8月から会長を5年間承り、皆様方のおかげで、その任を果たすことができました。ここに改めて深く感謝申し上げます。

これからは本同窓会はその良さを生かし、母校を盛り上げ、会を充実発展していけるものと信じています。今後、松永郁男新会長を中心とする活躍が次代を拓き前進されることを祈念しますとともに、皆様方のご健勝とご多幸をお祈りし、退任のご挨拶と致します。

また、本学部平成4年卒の世界的な指揮者下野竜也氏による、鹿大交響管弦楽団の学生の皆さんへの懇切なご指導に、教養育てることの真髓を感じ、印象に残るものとなりました。



### 同窓会と教育学部のこれから

鹿児島大学教育学部長 上谷 順三郎

鹿児島大学教育学部同窓会は、昨年、20周年を迎えました。その記念として、同窓会の歌「我が友よ」が作られました。今年、新入生歓迎の説明会では、さつそく石神会長からのご紹介があり、学生たちと一緒に私も歌いました。

同窓会の皆様には、15周年記念の時には「教育学部沿革の碑」を建立していただき、また第二講義棟には大きな時計を贈っていただきました。そして昨年は同窓会の歌を作っていただきました。いろいろな形でいつも学部生を見守り、励ましていただいております。ありがとうございます。どうぞこれからも

独自の集まりが実現しています。先のグローバル社会へ向けた国際交流への同窓会からの助成、そして「語る会」における同じ未来へ向かう同窓会による連携は、学生だけでなく私も教育学部教職員にとつても心強い支えとなっております。

また「鹿児島教育を語る会」の開催も17回を迎えます。初任教員から鹿児島県教育界の大先輩まで、多くの方が在学生を囲んで語り合うという、他にはない、大変貴重な、教育学部

独自の集まりが実現しています。先のグローバル社会へ向けた国際交流への同窓会からの助成、そして「語る会」における同じ未来へ向かう同窓会による連携は、学生だけでなく私も教育学部教職員にとつても心強い支えとなっております。

さて、鹿児島大学教育学部は平成29年度に改組を行い、初等教育コース、中等教育コース、実技系初等中等教育コースからなる学校教育教員養成課程と特別支援教育教員養成課程の2課程になりました。また教職大学院を新設し、今年3月には初めての修了生を送り出

しました。現在、新しい時代に対応した教育と研究、そして鹿児島県に貢献できる教員養成に向けて、少人数教育や複数免許取得を視野に入れたカリキュラム改革、全教職員による学生の学修・就職支援体制の構築などに取り組んでおります。

今後は令和3年に改組を予定している教職大学院と附属学校園との強力な連携のもと、鹿児島県の教育の様々なモデルとなるべく、さらに志を高く掲げて、次の10年を充実させていきたいと思っております。

これからは同窓会の皆様には教育学部への叱咤激励をどうぞよろしくお願い申し上げます。同窓会では、お互いの元気を

### 第22回同窓会の懇親会を担当して

鹿児島市伊敷公民館 社会教育指導員 昭和53年卒 東園 和臣



私たちは令和元年という記念すべき年に、第22回鹿児島大学教育学部同窓会の懇親会の世話をさせていただきました。

昭和53年卒業の中学校技術課程同期が3人いましたので、連絡を取り世話役になつてもらいました。おそらく、女性の3人も同様な感じでした。8月の本番に向けて、何回か打ち合わせを行い同窓会の流れが見えてきましたが、残り3週間ぐらいになって、余

興について具体的に決めていることに気づきました。日舞などに詳しい者もいなくどうしようか迷ったとき、先輩の鶴木孝夫氏に「何かあったら相談のるよ。」と言われていたことを思い出し、剣舞をお願いしたら快く引き受けてくださいました。世話役一同、感謝の気持ちでいっぱいでした。

懇親会では同窓会の歌「我が友よ」で絆を深め、学年の垣根を越えて語り、親交を深めました。最後に参加者全員が輪になり「北辰斜めに」を声高らかに歌って会を終えました。



伝統ある同窓会の世話役を任されて、一抹の不安もありましたが、多くの方々にご協力をいただき無事本年度に繋ぐことができました。これまで同窓会を支えてこられた先輩方に感謝しますとともに、本同窓会が益々発展することを願ひ、世話役を代表してお礼を申し上げます。

### 東京オリンピックそして鹿児島国体の年に

公益財団法人鹿児島県体育協会書記 昭和54年卒 大野 清昭



令和元年度同窓会の懇親会が、53年卒の世話係の方々のお世話によつて、8月に盛大に行われました。余興、語りなど、充実した2時間半であったと聞きました。残念ながら私自身は参加できなかったのですが、約100人の出席者の名簿には、懐かしい先輩のお名前が数多くありました。自分が、仕事で苦しんでいた時に、救っていただいた先輩がお元気でいらつしやるということがとてもうれしかったです。次年度の同窓会では、お互いの元気を

を感じながら、楽しく語りたいと思っております。さて、来年はオリンピックが7月24日から8月9日まで、パラリンピックが8月25日から9月6日まで開催されます。そして、鹿児島県では48年ぶりに国民体育大会が開催されます。太陽国体は懐かしい思い出です。開催期間は10月3日から10月13日です。全国障害者スポーツ大会が10月24日から10月26日です。

そのため教育学部同窓会の期日も、決定するまでは、慎重にならざるを得ない状況でしたが、皆さんが集まりやすい日を検討し、7月19日(日)に決定

されました。私は現在、鹿児島大学ラグビー部OB会の総務として、毎年の総会・懇親会や現役活動報告、活動激励に携わっています。現役部員の中では県内出身者は少ない現状があります。県外の後輩たちは、鹿児島大学を選んだ理由を「鹿児島大学は街の中にあり、とても広い敷地を持った総合大学ということに人気があります。」と言っています。自分が学生時代には考えもしなかった視点です。社会の変化とともに大学も変わっていくことを実感しています。皆様、令和2年度の同窓会にはたつぷりと旧交を温める時間を持つとともに、これからの鹿児島大学やお互いの未来についても語り、心に残る楽しい時間にいたしましょう。

□平成30年度 教育学部同窓会一般会計決算報告書□

1. 収入の部

(単位：円)

Table with 5 columns: 区分, 予算額, 決算額, 増減額, 備考. Rows include 前年度繰越費, 運営協力金, 雑収入, 会計区分変更, 合計.

2. 支出の部

Table with 5 columns: 区分, 予算額, 決算額, 増減額, 備考. Rows include 事務経費, 会議費, 事業費, 同窓会連合会経費, 会計区分変更, 予備費, 合計, 次年度繰越額.

□令和元年度 教育学部同窓会予算□

(単位：円)

1. 一般会計

(収入の部)

Table with 4 columns: 区分, 平成30年度決算額, 令和元年度予算額, 備考. Rows include 前年度繰越費, 会費, 運営協力金, 雑収入, 会計区分変更, 合計.

(支出の部)

Table with 4 columns: 区分, 平成30年度決算額, 令和元年度予算額, 備考. Rows include 事務経費, 会議費, 事業費, 同窓会連合会経費, 会計区分変更, 予備費, 合計, 次年度繰越額.

2. 特別会計

(1) 記念事業積立金

(収入の部)

Table with 4 columns: 区分, 平成30年度決算額, 令和元年度予算額, 備考. Rows include 前年度繰越, 合計.

(支出の部)

Table with 4 columns: 区分, 平成30年度決算額, 令和元年度予算額, 備考. Rows include 記念式典等経費, 一般会計へ流用, 合計.

(2) 大会開催等準備基金

(収入の部)

Table with 4 columns: 区分, 平成30年度決算額, 令和元年度予算額, 備考. Rows include 前年度繰越, 合計.

(支出の部)

Table with 4 columns: 区分, 平成30年度決算額, 令和元年度予算額, 備考. Rows include 大会開催等関係経費, 合計.

(3) 国際交流基金

(収入の部)

Table with 4 columns: 区分, 平成30年度決算額, 令和元年度予算額, 備考. Rows include 前年度繰越, 一般会計からの組み替え, 合計.

(支出の部)

Table with 4 columns: 区分, 平成30年度決算額, 令和元年度予算額, 備考. Rows include 国際交流基金, 学部国際交流活動支援, 合計.

鹿児島大学教育学部同窓会役員

顧問 島田俊秀 会長 坂尾隆秀 副会長 武隈理晃

名譽会長 池之迫順三 石神静三 松永正明 文城郁男 東保寛治 久保正洋 鮫島寛行 伊藤宣徳 宮下光一 平澤光一 福澤光一

支務部 西種子田弘芳 幹事 立山英雄 監事 江口重遠 野間ひろみ 竹之内好

支部世話役 (鹿児島) 木山照夫 (始良) 榎川孝行 (川辺) 早川孝行 (日置) 向原良行 (川薩) 早川孝行 (出水) 竹内昭夫 (伊佐) 樋内昭夫 (指宿) 下戸勝一郎 (曾根) 肥後勝一郎 (肝属) 大野昌三 (熊島) 大野昌三

会費納入についてのお願い

教育学部同窓会は、会員相互の親睦、鹿児島大学及び本学部の発展と本県教育の振興を図ることを目的にして、平成10年に設立されました。目的達成に向けて様々な活動を推進するために、終身会費1万円を、在学生は入学時に、卒業生は随時納入することになっております。このことについての周知がまだ十分とは言いえず、会費未納の卒業生が多数おられます。その方々に対し、事務局からは計画的にお願いをしております。

会員の皆様におかれましては、学年部会・教科部会等で未納の方々に会費の納入をすすめていただきますようお願いいたします。

※納入の方法については、事務局に直接御連絡ください。

TEL・FAX 099-285-7718

「同窓会運営協力金」募金のお礼とお願い

本同窓会の運営は、卒業生と新入生から納入していただいた終身会費1万円のみで運営されてきました。しかし、入学者の大幅な定数減による収入減や郵送料金等の値上げにより財源が窮乏しております。事務局でも運営のあり方を検討してまいりますが、昨年度「同窓会運営協力金」募金をお願いしたところ、延べ126人の卒業生の方々に御協力をいただきました。誠にありがとうございました。

昨今の厳しい経済状況の中、また出費多端の折、恐縮に存じますが、本会の安定した運営の存続のために、本年度も御支援を賜りたいと思っております。何とぞよろしくお願いいたします。

「同窓会運営協力金」は1口1,000円でございますが、幾口でも御協力をいただければ幸甚に存じます。



# 学び・育み・集う「我が友」

## 第17回「鹿児島の教育を語る会」を開催

学生・教職員・卒業生等約90人が参加し、平成30年11月30日「鹿児島の教育を語る会」が教育学部で開催された。同窓会の歌「我が友よ」を斉唱して開会したグループ協議は、先輩に学び、後輩を育むという和やかな雰囲気の中で、教育や教師について熱心な話し合いが行われた。懇親交流会では、食事を取りながら「教育」以外の話題も語られ、各グループとも盛り上がり親睦が図られた。

### 「我が友よ」

開会行事では、教育学部同窓会設立20周年を記念して作成された同窓会の歌「我が友よ」を音楽専修科学生の指揮で斉唱した。歌詞を初めて見る学生たちも多かったが、力強く歌い、教育学部の仲間の一員であることを自覚したようである。

今後も同窓会の歌があらゆる機会に広く歌い継がれていくことが望まれる。

### 未来への挑戦

平成22年に制定された鹿児島大学学生憲章は、「自らを磨き、未来を拓いていく」と謳い、将来を見据えて不断の努力を続ける鹿大生であることを強調している。

同窓会でもそのような進取の気風にあふれる学生の育成を応援するため、今回も昨年に引き続き「未来への挑戦」というテーマを設定した。

テーマについて、各専修学科代表の二人がグループ協議で発表し、それをもとにして卒業生の司会で話し合いは進められていった。各専修学科代表が発表した「未来への挑戦」は次のとおりである。

- ・ 一生大切にしたい「笑顔」
- ・ 子供と共に全力で楽しむ
- ・ 子供の居場所づくり
- ・ インクルーシブ教育
- ・ 生きる力を育む授業力と生

### 徒指導

- ・ 未来を担う子供の育成
- ・ 子供一人ひとりと本気で向き合う教師
- ・ 信頼される教師
- ・ 子供たちの良き導き手、先生の師となる
- ・ 教育者になること
- ・ 美術科の良さを生徒に感じさせる教師
- ・ 鹿児島県の教員になること
- ・ 食の教育の専門家
- ・ 子供と対等に向き合う教師



### グループ協議

どのような会なのか、不安に思っただけで参加していた学生たちの表情も徐々に和らぎ、萎縮することなく様々な意見や考え方を述べていた。

特に、教員採用試験に合格している学生も多く、4か月後には教壇に立つという真剣さが感じられた。

また、学生たちには先輩の話聞くだけでなく同じ学生たちの様々な意見を聞くことも貴重な経験となったようである。

参加した学生の感想をいくつか紹介したい。

先輩の先生方から多くの貴重な話を聞いた。経験を積み重ねてきた先輩の話はすごく心に響いた。その中で「教師のやりがい」とは教えることよりも生徒や地域の人との関わりが大きいと感じた。自分もそういう教師を目指したい。(数学科)

特に印象に残ったことが二つある。一つは「教育原理」が大切だということ。だから大学での講義を大事にしていきたい。二つ目は、失敗や回りが正解になるかは自分次第だということ。(障害児教育)

### 懇親交流会

グループ協議の後、教育学部食堂(エデュカ)でバイキング形式の懇親交流会が開かれた。夕食を取りながら教育以外のアルバイトや採用試験のことなど幅広い話題で盛り上がり、会員相互の親睦が図られた。



(研修部・東 寛治)

### 世界をもっと知りたい

教育学部社会専修4年 新留 弘章



私は小学生時代、知らない世界を眺めることが好きで子供でした。どういことかというところ、一足先に中学生になった兄の資料集を借りてはよく読んで、勝手に付箋を付けては飽きずに何度も読んでいました(今も資料集を読むことは好きです)。当時の私には、外国の人々の生活や海外から輸入されてくる食べ物について知ることが、それだけでとても満足するものでした。中学生になると、気になったものを自分で調べて新たな発見をする楽しさも分かるようになりました。

中学3年の進路選択で、社会科学の教員になって子供たちに世界を知る楽しさを伝えたい、そして自分もこの社会科学という教科に関わってみたいと思っただけで社会科学を目標に、大学も教育学部社会専修に入学しました。

大学では公民系列・法学ゼミに所属し、専門的に公民を学んでいます。公民的分野の面白さの一つに、内容に必ずしも正解がなく、ベターを追求するという側面があることだと私は思っています。ですから同じゼミ生との話し合いや先生の話が自分にとっていつも新鮮で刺激に富んでいます。分かったと思っても、そこからまた分からないが広がる。その探究を面白いと感じられるのは、友人と先生に恵まれたからでしょう。

これからまだまだ長い人生の中で、経験を重ね、見聞を広めて自分の世界を広げて、教員としてそれを子供に伝えたいと思います。そして社会科好きの子供を増やすことができれば自分の最高の喜びです。

### 教育学部生としての目標

教育学部理科専修3年 門松 大介



私は高校時代、自分が何をしたいのか悩んでいた。

大学に入ってから様々な分野の授業を学び、それぞれに違った面白さがあり、とても充実した日々を過ごすことができています。サークルや学科等の友人もでき、大学生らしい生活を送っています。先輩・後輩の関係も高校時代とはまた違った関係が築き、様々な人とのコミュニケーションをとることができています。

大学生活も残すところ一年半となり、今は授業やゼミといった学業に力を入れています。自分で決めた将来に向かって日々精進する毎日はとても有意義です。教育実習の時に感じた教師という仕事のやりがいを忘れず、これからの大学生活を過ごしていきたいと考えています。子供が主体となる学校で忙しい日々を経験して、子供の笑顔を見たり、子供の成長を少しでも感じたりすると、とてもやりがいを感じ、また頑張ろうという気持ちになります。この気持ちを忘れないで、これから自分の夢に向かって頑張りたいです。

私たちの同窓会には、二つの決まりがある。スタートの時刻は決めているけど、帰りは自由である。自分の時間帯で参加できる。もう一つは、一人3分間くらいの近況報告をみんなの前ですることだ。最近では、親の介護・年金のこと・孫への接し方・健康問題などが話題の中心になっている。近況で語ったことを深めることもできる。3・4時間という時間はあっという間に過ぎていく。この仲間、自分たちの還暦同窓会も盛大にできたし、鹿児島大学教育学部20周年記念大会の運営も

### 絆を深めるAKD48

新屋 道治 (昭和52年卒)



私たちは、鹿児島大学教育学部48年度入学生である。

同窓会のスタートは、教頭になり始めた40才前後である。11月の県教頭研修会で鹿児島市で会うようになり、昔を懐かしんだり、管理職としての悩みを語ったりした。年を追うごとに同級生の管理職の数も増えてきた。校長になり人事のことや教職員評価システム等も気軽に情報交換もできた。県外組も参加したいということと、10年前から8月の第1土曜日に、交通の便利な鹿児島中央駅の近くの居酒屋で実施している。参加者は、年によって変動はあるが、だいたい20〜30人くらいである。気を遣わない仲間と過ごす時間は無上の喜びである。新幹線でも日帰りができるようになり、福岡・熊本等からも喜んで参加してくれる。

私たちの同窓会には、二つの決まりがある。スタートの時刻は決めているけど、帰りは自由である。自分の時間帯で参加できる。もう一つは、一人3分間くらいの近況報告をみんなの前ですることだ。最近では、親の介護・年金のこと・孫への接し方・健康問題などが話題の中心になっている。近況で語ったことを深めることもできる。3・4時間という時間はあっという間に過ぎていく。この仲間、自分たちの還暦同窓会も盛大にできたし、鹿児島大学教育学部20周年記念大会の運営も

責任を果たすことができた。本年度で25回目。台風の時や、参加人数が一杯のときもあつたが、一度も途切れることなく続いている。それぞれ人生を重ね、幅広い知見を持ち合わせた仲間たちだ。私にとって、大学の友は最高の財産であり、誇りでもある。人生の三分の二を過ぎ、そろそろ終活も考える年頃になったが、体が動くうちは参加したい。来年もみんなに会えるように健康的な生活に心がけた。

### 編集後記



教育学部同窓会は今年度、会長交代という大きな節目の年になった。石神正明前会長は同窓会の歌「我が友よ」に込められた思いが永く継がれていくことを強く願われ、松永郁男新会長はその意思を大事にしながら、自らの「生きる目標」として会長を引き受けられたとのことである。先輩方の並々ならぬ思いを胸に刻み、後に続く人たちを育むことが私たちの責務である。玉稿をお寄せくださいました皆様から感謝申し上げます。広報部(文城テツ子、後藤千和子、上妻和夫、田之上齊)